

第3期中期目標策定にかかる企業等アンケート

一 調査結果 -

平成28年11月

県政情報文書課

調査概要

1 調査目的

熊本県が熊本県立大学に対して、第3期中期目標期間（平成30～35年度）の業務の方向性を示す「中期目標」を策定するにあたり、熊本県立大学の取組等に関する意見を把握する。

2 調査期間

平成28年9月1日～平成28年10月7日

3 調査方法

調査対象企業等に対して、郵送により調査票を送付、回収した。

4 調査対象企業等

内訳	件数
県内市町村	45
県内関係団体（商工会議所等）	12
卒業生就職先企業等（*1）	168
一般企業・団体（*2）	475
合計	700



上記を業種別（*3）に分類

業種	件数
行政（市町村）	45
農林水産業	10
建設業	175
製造業	140
情報通信業	25
運輸業	20
卸売・小売業	99
金融・保険業	14
不動産・物品賃貸業	27
専門技術・サービス業（企画会社、写真館等）	29
宿泊・飲食サービス業	23
教育・医療・福祉	53
サービス業（、以外のサービス業）	40
合計	700

*1 卒業生就職先企業のうち、住所等判明分のみ。

*2 資本金1千万以上の企業・団体の中から、業種別に無作為抽出。（出典：2016 くまもと企業白書）

*3 業種区分は、2016 くまもと企業白書による。

5 調査項目

- (1) 熊本県立大学に期待する取組について
- (2) 熊本県立大学に期待する研究分野について
- (3) 熊本県立大学に期待する地域貢献について
- (4) 貴社(団体)が求める人材について

6 回答状況

送付数	700件
返戻(転居先不明)	2件
回答数	330件
未回答数	368件
回答率	47%

参考 前回実施時回答率 45.6%

[内 訳]

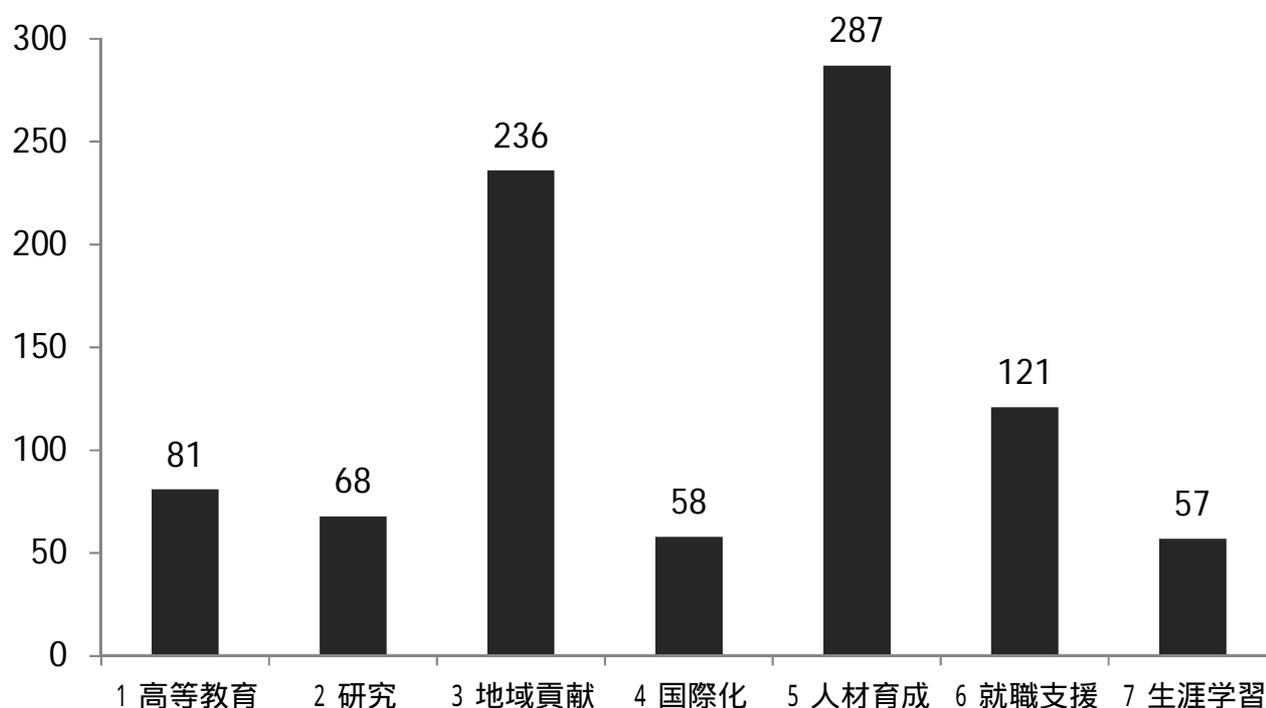
(単位:件、%)

業種	送付数	回答数	未回答数	返戻	回答率
市町村	45	31	14		68.89
農林水産業	10	3	7		30.00
建設業	175	85	88	2	48.57
製造業	140	59	81		42.14
情報通信業	25	10	15		40.00
運輸業	20	9	11		45.00
卸売・小売業	99	44	55		44.44
金融・保険業	14	9	5		64.29
不動産・物品賃貸業	27	11	16		40.74
専門技術・サービス業	29	16	13		55.17
宿泊・飲食サービス業	23	6	17		26.09
教育・医療・福祉	53	28	25		52.83
サービス業	40	19	21		47.50
計	700	330	368	2	47.14

調査結果

問1 期待する取組について

熊本県立大学に期待する取組は何ですか。期待度の高いものから3つ選んでください。



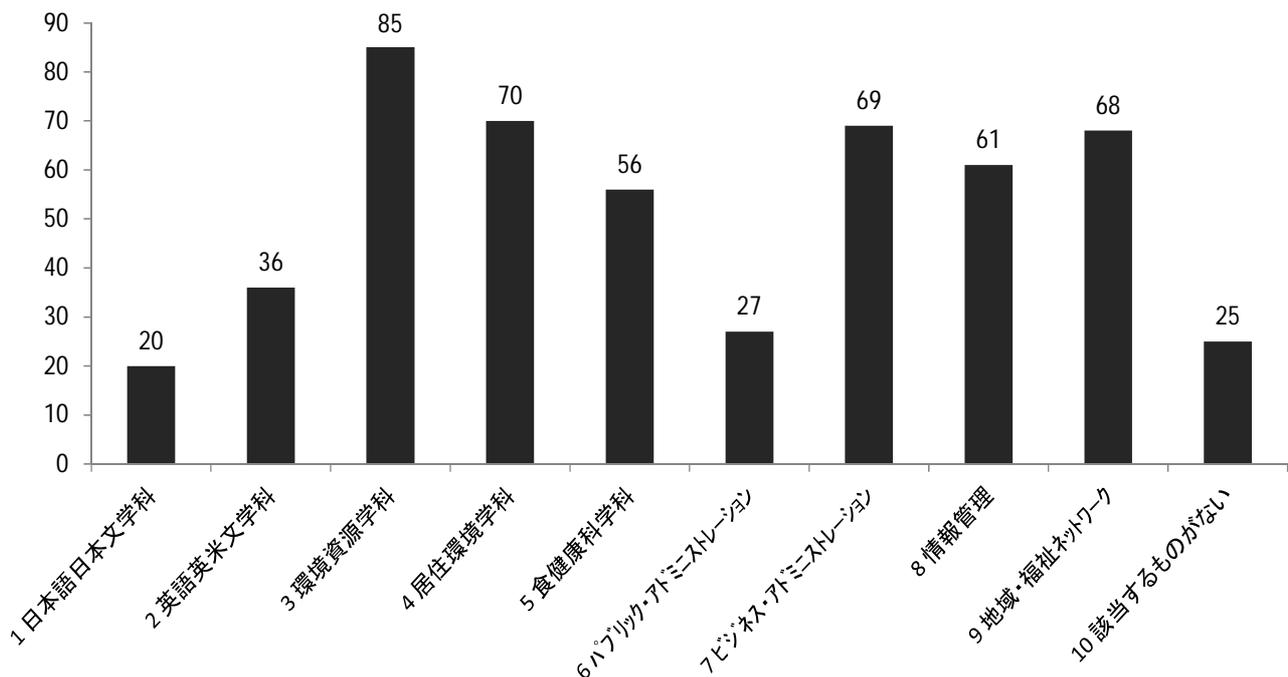
[内訳]

(単位：件)

業種	1 高等教育	2 研究	3 地域貢献	4 国際化	5 人材育成	6 就職支援	7 生涯学習
市町村	6	7	28	4	30	3	10
農林水産業			3	1	2	1	1
建設業	14	20	58	16	71	42	10
製造業	14	20	34	13	49	21	8
情報通信業	4	3	5	2	9	2	4
運輸業	3		6		6	1	4
卸売・小売業	11	4	32	5	38	15	11
金融・保険業	2	2	7	1	9	4	2
不動産・物品賃貸業	5		8	2	9	6	1
専門技術・サービス業	6	2	12	3	16	7	1
宿泊・飲食サービス業	1		5	3	5	1	1
教育・医療・福祉	10	5	21	4	26	14	3
サービス業	5	5	17	4	17	4	1
計	81	68	236	58	287	121	57

問2 期待する研究分野について

熊本県立大学に期待する研究分野は何ですか。その理由も御回答ください。(複数回答可)



[期待する主な理由]

文学部	1 日本語日本文学科	日本語の継承 日本文化の知識を有した人材の育成
	2 英語英米文学科	グローバル化への対応 語学力に長けた人材の育成
環境共生学部	3 環境資源学科	資源の有効活用や温暖化等の地球環境にかかる問題への取組が必要 環境関係の知識を持つ人材の育成 ニーズがあるから
	4 居住環境学科	建築分野の人材不足という背景から、その専門知識を有した人材の育成が必要 熊本の風土に合った居住環境にかかる研究に期待 行政が行う移住定住施策に必要 災害に強い居住環境、災害時の避難所や仮設住宅の居住環境の重要性・必要性
	5 食健康科学科	食と健康、食の安全・安心にかかる研究への期待 食に関わる様々な専門的知識を有する人材の育成
総合管理学部	6 パブリック・アドミニストレーション	行政の抱える諸課題を解決するための研究に対する期待 幅広い知識と柔軟で実践的な思考等を持った人材の育成
	7 ビジネス・アドミニストレーション	組織の一員として企業の発展に寄与する人材の育成 行政や企業等の組織や地域が抱える諸課題の解決等に取り組む研究への期待
	8 情報管理	情報化社会に対応できる人材の育成 企業にとって情報管理は喫緊の課題であるため、その研究に期待
	9 地域・福祉ネットワーク	少子高齢化及び地方の過疎化が進む中、地域のつながりが重要なため、この分野の研究に期待 地域の課題解決に取り組む人材の育成
	10 該当するものがない	コミュニケーション能力を磨く分野に期待 独自の発想力を発揮できる人材の育成 建築工学に期待 熊大の次に来ようようなレベルの理系の学部 地域交通の確保、地域振興の支援 経済工学科に期待 地域活性化や観光地をアピールする学部

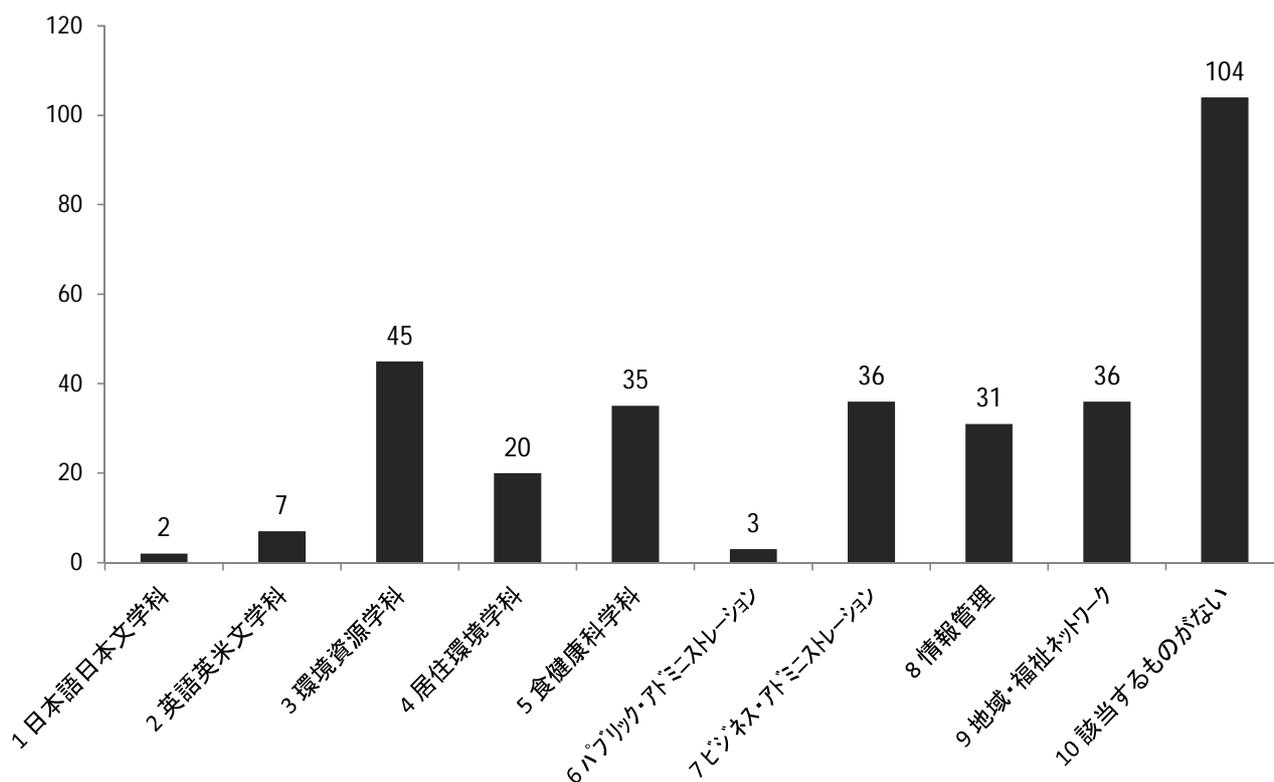
[内訳]

(単位:件)

業種	文学部		環境共生学部			総合管理学部				10 該当するものがない
	1 日本語日本文学科	2 英語英米文学科	3 環境資源学科	4 居住環境学科	5 食健康科学科	6 パブリック・アドミニストレーション	7 ビジネス・アドミニストレーション	8 情報管理	9 地域・福祉ネットワーク	
市町村	2	2	6	6	5	16	3	3	16	
農林水産業	1	1	2	1	1					1
建設業	7	9	24	31	2	1	11	8	7	11
製造業	1	7	22	7	18	1	13	14	2	3
情報通信業			2	1		1	3	6	1	
運輸業		1	3	1			3	1		1
卸売・小売業	3	6	6	6	9	4	11	8	10	5
金融・保険業	1	1	4	3	4	2	4	2	4	
不動産・物品賃貸業	2			6			3	5	2	2
専門技術・サービス業	2	1	4	5			6	3	3	
宿泊・飲食サービス業		3	4	1	1		1		3	1
教育・医療・福祉		4	2	1	12	1	6	8	14	1
サービス業	1	1	6	1	4	1	5	3	6	
計	20	36	85	70	56	27	69	61	68	25

[参考] 前回調査との比較 (H23 年度実施)

期待する研究分野



問3 期待する地域貢献について

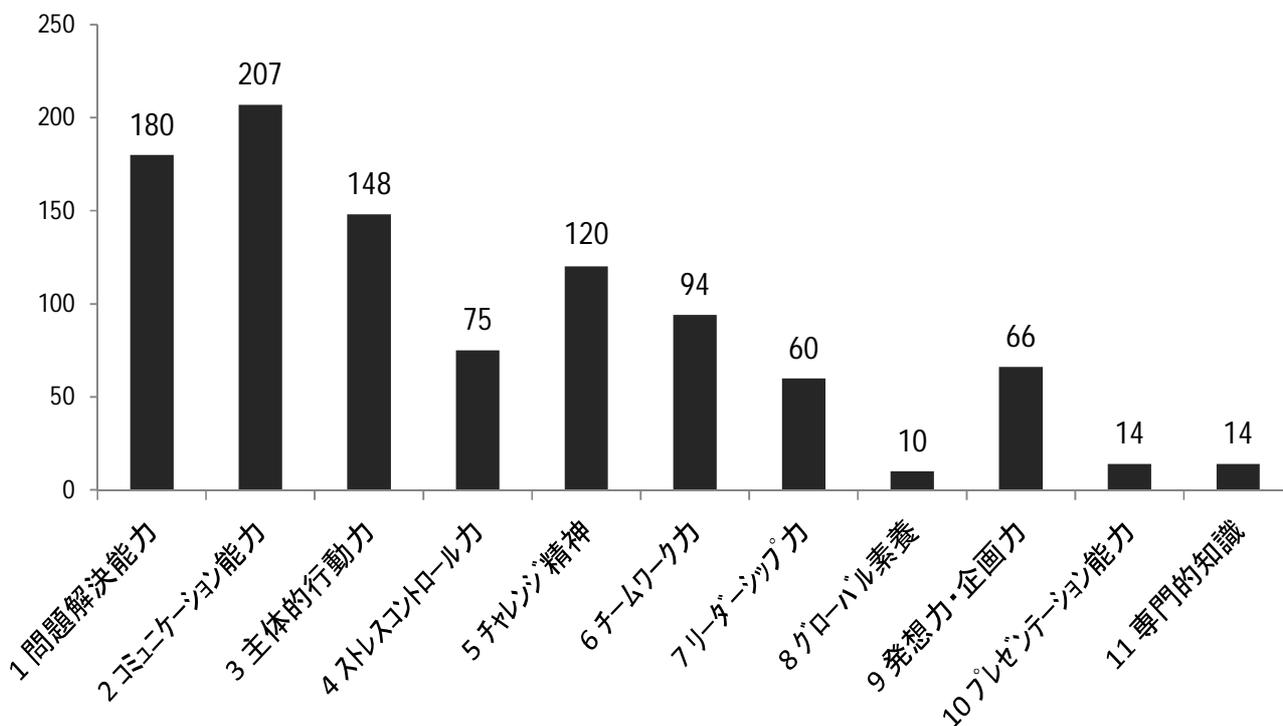
熊本県立大学の地域貢献として、どのような取組を期待しますか。

[期待する主な取組]

- 1位 人材育成
- 2位 地元就職
- 3位 地域課題解決・地域活性化
- 4位 産学連携または官学連携による取組
- 5位 生涯学習
- 6位 学生ボランティア
- 7位 行政への協力や県の発展にかかる取組

問4 貴社(団体)が求める人材について

貴社(団体)が大卒者を採用する際、どのような能力を重視しますか。最も重視するものから3つ選んでください。



[内訳]

(単位:件)

業種	1 問題解決能力	2 コミュニケーション能力	3 主体的行動力	4 ストレスコントロール力	5 チャレンジ精神	6 チームワーク力	7 リーダーシップ力	8 グローバル素養	9 発想力・企画力	10 プレゼンテーション能力	11 専門的知識	計
市町村	21	25	13	8	13	9	1	1	7	0	0	98
農林水産業	1	2	1	0	3	0	1	0	0	0	0	8
建設業	41	47	42	20	26	36	15	2	16	3	4	252
製造業	36	30	24	12	24	14	12	5	17	3	4	181
情報通信業	2	8	5	2	4	1	2	0	3	2	0	29
運輸業	9	5	5	0	4	1	1	1	1	0	0	27
卸売・小売業	27	27	15	10	17	12	10	0	7	3	1	129
金融・保険業	4	7	3	3	4	1	4	0	1	0	0	27
不動産・物品賃貸業	7	10	4	1	5	1	3	0	1	0	0	32
専門技術・サービス業	6	11	7	5	6	1	2	0	5	2	3	48
宿泊・飲食サービス業	2	3	2	2	2	2	1	1	3	0	0	18
教育・医療・福祉	14	18	20	6	8	9	5	0	3	1	1	85
サービス業	10	14	7	6	4	7	3	0	2	0	1	54
計	180	207	148	75	120	94	60	10	66	14	14	890

【 参考 】 前回調査との比較 (H23 年度実施)

貴社(団体)が求める人材

